



新庄市の新庄東高(田宮邦彦校長)は17日、台湾の員林高級農工職業学校(員林農工、林玉芬校長)と姉妹校協定を締結した。相互訪問を柱に友好関係を強め、教育、文化、スポーツなどの交流を深める。同高が海外の高校と協定を結ぶのは4校目。

台湾の高校と姉妹校に

新庄東高が協定

員林農工は日本の高校に当たり、国際交流に力を入れている。2016年に県観光物産協会から交流研修の紹介を受け、新庄東が希望生徒9人と教員1人を初めて派遣した。以来、相互訪問を繰り返して、ホームステイや交流研修を通じて親睦を深めてきた。

締結式は、新庄東高で行われた。員林農工の生徒34人と教職員ら6人が訪れたほか、新庄東の生徒と教職員計約70人が参加した。田宮校長と員林農工の黄淑玖教頭、張道義PTA会長が協定書を取り交わした。田宮校長が「姉妹校締結はこの上ない喜びだ。相互訪問は生徒にとり貴重な体験になる」。黄教頭は「相互訪問を続けて、互いの文化を

姉妹校協定を結ぶ(左から)

田宮邦彦校長と員林農工の張道義PTA会長と黄淑玖教頭

新庄市・新庄東高

内陸



新庄支社 02333(22)3580 東根支社 02337(43)7333
尾花沢支社 02337(22)0165 寒河江支社 02337(86)4241
村山支社 02337(55)2532

地域の情報をお寄せください

台湾の高校生が そば打ちに挑戦

大石田・教育旅行

理解することは大切だ。姉妹校として長い付き合いをしたい」とそれぞれあいさつした。

(横山卓)

日本に教育旅行に来てい台湾の高校生が19日、大石田町の温泉施設あつたま



リランド深堀を訪れ、そば打ちを体験して日本文化に

触れた写真。

高校生は台湾員林市にある員林高級農工職業学校の1〜3年生34人。同町大石田そば道楽の会(阿部栄会長)の会員3人から指導を受けた。台湾では麺を手打ちすることがほとんどないという、生徒たちは工程を一つ一つ丁寧にこなし、3年の胡竣評さん(17)は「とても興味深い。そば粉

を円のように伸ばすのが難しい」と語り、2年の高瀬翼さん(16)は「日本人の父はいつも作ってくれるけど、自分で打つのは楽しい」と白い歯を見せた。阿部会長は「粉のこね方がうまい」とたたえた。生徒はその後、ゆでたてを味わった。日本には22日まで滞在する。

(沢幸蔵)

山形新聞

2018.12.20